

<空の安全・安心を！ 整理解雇 4 要件を守れ！>

京都のつばさ 街頭宣伝用ニュース 第 15 号 2012. 11. 19

日本航空の不当解雇撤回をめざす京都支援共闘会議・発行



〒600-8001 京都市中京区壬生仙念町 30-2 ラボール京都 5F 京都総評気付 075-801-2308 (第 17 回定例宣伝)

「JAL 解雇撤回を稲盛名誉会長に」の ビラを熱心に見る出席者＝京都賞授賞式



「私たちは一昨年大晦日に日本航空に解雇されたパイロットと客室乗務員 142 名です。不当な解雇は撤回せよ！と裁判で闘っています。ご支援よろしくお願い致します。」

We are 142 crew members, pilots and flight attendants of Japan Airlines, who were dismissed on New Year's Eve two years ago. We brought this case to court in order to reverse this unfair dismissal.

(We were dismissed due to age discrimination and sick-leave record in the past.)

Your kind understanding and support would be greatly appreciated. Thank you.

우리들은 지난해 12 월 31 일, 일본항공사에서 해고당한 파일럿과 객실승무원 142 명입니다. 부당한 해고에 대한 철회를 요청하는 재판을 걸고 투쟁하고 있습니다. 여러분께, 많은 지원을 부탁드립니다.

国立京都国際会館前で 11 月 10 日午後、「第 28 回京都賞」授賞式会場前抗議・宣伝行動を行ないました。これは稲盛財団が毎秋実施し、内外の学者・文化人 3 人に各 5 千万円もの賞金を授与する催し。

急な冷え込みから紅葉も色づき始めた京都市左京区宝ヶ池の会場には、支援組織の労働者・市民や原告団などが「JAL 稲盛和夫会長は JAL142 名の不当解雇を撤回せよ」とか、「稲盛名誉会長（京セラ創業者）は JAL 乗員・客乗原告と直接交渉せよ」などと大書した横断幕やノボリを持ち、授賞式参加の人たちに呼びかけました。ビラも配布しました。

外国からのゲストもたくさん通るホテルから会場への歩道では、大阪全労協・友延青年部長が英語で訴え。日本語の間延びしたのと違って、外国語の訴えはすごく調子が良く、かっこいい。予想外に参加者がビラを取ってくれるので、用意した分はすぐなくなってしまいました。原告の飯田機長も連続 30 分演説の名調子。

不当解雇を行った JAL・稲盛和夫名誉会長は同じ関西人として許せない

会館前通路手前の一般道路で京都総評宣伝車を使用して、JAL 客乗原告団・内田団長はじめ原告がこもごも訴えました。土曜日のため、観光客のみなさんや学生がたくさん通ってビラを受け取ってくださる。

宣伝集約では 11 月中旬から東海道キャラバンを計画し、12 月 6 日の東京高裁乗員裁判の東京めざして頑張る国労京滋の横田副委員長はじめ、きょうとユニオン・玉井委員長、毎月支援共闘とは別に宣伝行動を取り組む「JAL 闘争を支える京都の会」・駒井事務局長からも挨拶。大阪全労協・友延青年部長からは「稲盛は関西の恥だ。同じ関西人として許せない」と、元気な連帯挨拶がなされました。そして JAL 原告団の 5 人が自己紹介のあと、内田団長の「必ず勝ってあの空の職場に戻る」と力強い決意表明。原告の機長組合の飯田さんのシュプレヒコールで、高裁勝利めざしこぶしを固めあいました。

政府と日航は ILO 勧告を真摯に受け止め解雇問題の早期全面解決を

2012 年 6 月 28 日 日本航空乗員組合・日本航空キャビンクルーユニオンは声明発表

ILO(国際労働機関)理事会は、2012 年 6 月 15 日、日本政府に対する勧告を採択しました。

骨折しても運航のパイロット、着陸時に立ちっぱなしの CA、通路を飛び出すカート！



稲盛名誉会長の「哲学」＝「もうけなくして安全なし」で危険な空に！